

エコアクション21

環境経営レポート



群馬県高崎市問屋町3丁目3の1

株式会社 モテキ



対象期間 2023年度(2023年2月～2024年1月)

《ご挨拶》

株式会社モテキは1948年創業以来、企業革新を続け、地域社会に密着し、文化の向上と産業の発展に貢献する企業を目指しております。

企業活動に伴う環境負荷を把握・評価して、経営上取組の対象とすべき環境負荷を特定することは、適切な環境への取組を行うための第1歩です。

次頁の環境経営方針を基に環境経営を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え新たな動きを始めました。

以下、【環境経営レポート】としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営に生かして行きたいと存じます。



株式会社 モテキ
代表取締役社長

茂木 克仁

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. エコアクション21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-6

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

(株)モテキは、環境に優しい商品の提案を通じて、限りある資源を大切にしながら、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 環境負荷を把握し、削減に努めます。
 - ①化石燃料・電力の使用量を抑制し、CO2排出の低減に努めます。
 - ②水道水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ③廃棄物の削減に努めます。
2. 事業活動において、環境負荷の少ない商品の提案を図ります。
3. 事業活動において、環境に関わる法規制等を遵守します。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、社員の環境に関する意識を高める活動を進めます。

～ この環境経営方針は、社内外に公表します ～

2008年 4月 1日 制定

2018年 7月 1日 改定

株式会社モテキ
代表取締役社長

茂木 克仁

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社 モテキ
代表取締役社長 茂木 克仁



2. 所在地

本 社 〒370-0006 群馬県高崎市間屋町3丁目3の1
TEL 027-361-3910(代表)

ガス・メカトロ 部 TEL 027-361-3910 FAX 027-361-2149
F A マシン 部 TEL 027-361-3911 FAX 027-363-9256
水事業推進室 TEL 027-361-3910 FAX 027-361-2149

前橋営業所 〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1丁目13の5
TEL 027-251-1826 FAX 027-252-3097

関東営業所 〒370-0321 群馬県太田市新田木崎町1738-1
TEL 0276-56-6672 FAX 0276-56-7761

ライフアップ
事業部 〒370-0871 群馬県高崎市上豊岡町554-12
TEL 027-326-8000 FAX 027-323-8439

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 茂木 克仁
環境管理責任者 : 代表取締役社長 茂木 克仁
担当 : エコアクション21事務局
大崎 政俊
湯浅 孝明

TEL : 027-361-3910
FAX : 027-361-2149



4. 事業の内容

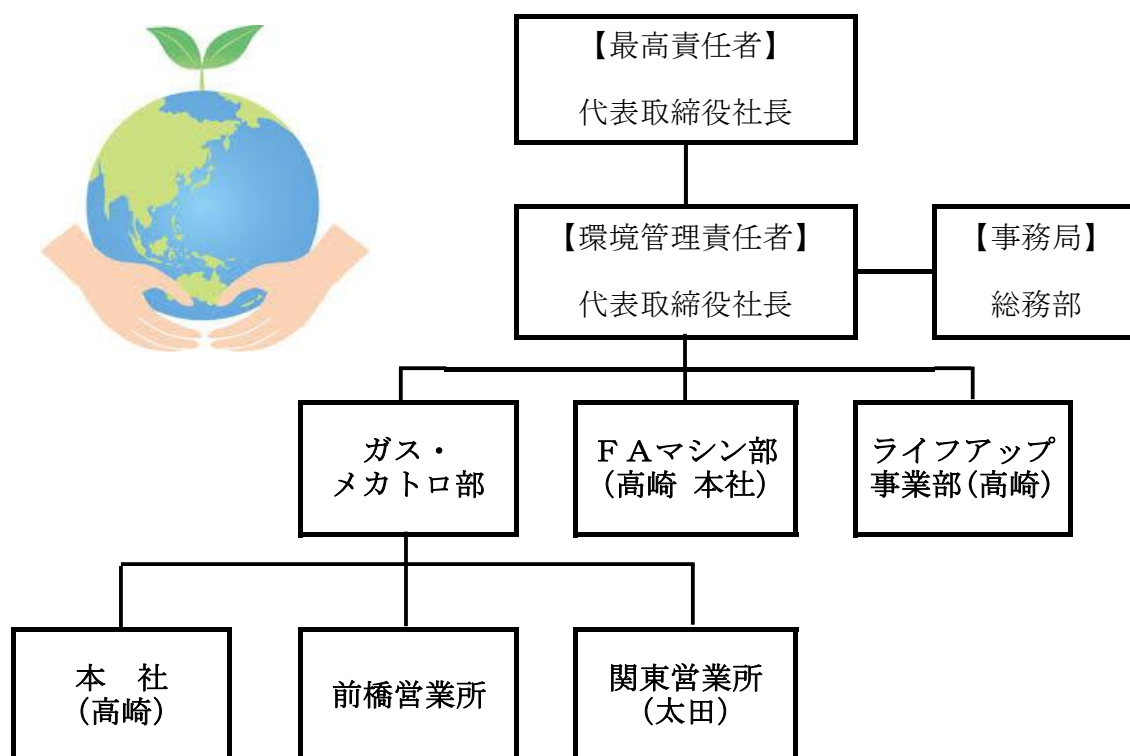
高圧ガス・溶接機器・溶接材料及び工具・工作機等販売及び
リフォーム関連

「対象範囲：上記の全事業所、全活動」

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年度 (令和3年度) 2021.2月 ~2022.1月	2022年度 (令和4年度) 2022.2月 ~2023.1月	2023年度 (令和5年度) 2023.2月 ~2024.1月
従業員数	人	118	118	120
延べ床面積	m ²	2,070	2,070	2,070

3. エコアクション21 推進実施図(全サイト)



職名	役割
最高責任者	【代表取締役社長】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【代表取締役社長】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【総務】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。

4. モテキ環境経営目標とその実績

主要な環境経営目標と環境負荷・実績

No.	項目	基準年実績 (2021年度)	2023年度		2024年度	2025年度	管理項目・実施項目
			目標	実績	中長期目標	中長期目標	
1	二酸化炭素排出量の削減 及び二酸化炭素総排出量	560,992.46 (Kg-CO2)	2021年度実績に対して 0.5%削減 ▲2,804.96 (kg-CO2)	546,630.66 (Kg-CO2) 0.5%削減目標に対して 2.56%削減	2021年度実績に対して 0.5%削減	2021年度実績に対して 0.5%削減	①空調温度適正化・表示 ②照明不要時OFF推進・LED設置等 ③エアコン清掃の実施 ④社用車の点検・整備 ⑤電力・営業車燃料量等集計
2	廃棄物排出量の削減 及び廃棄物総排出量と再資源化率	一般廃棄物実績 14,899.00 (kg) 廃棄物再資源率 61.7%	一般廃棄物2021年度実績に対して 1%削減 ▲148.99 (kg) 廃棄物再資源率 84%以上	一般廃棄物 13,943.00 (kg) 1%削減目標に対して 6.42%削減 産業廃棄物再資源化率 81.4%	一般廃棄物2021年度実績に対し 1%削減 廃棄物再資源率 (84%以上)	一般廃棄物2021年度実績に対し 1%削減 廃棄物再資源率 (84%以上)	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④マニフェスト管理方法の確立
3	水資源投入量の削減 及び総投入量	988.00 (m³)	2021年度実績に対して1%削減 ▲9.88 (m³)	949.00 (m³) 1%削減目標に対して 3.95%削減	2021年度実績に対して1%削減	2021年度実績に対して1%削減	①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(給湯室・手洗い場・トイレ) ③トイレの節水
4	営業商品の環境保全への貢献		営業時の環境配慮	省エネ溶接機等の推進	環境によい商材の推進	環境によい商材の推進	①環境保全の推進 ②環境負荷の少ない商品の提案営業 ③環境ニーズに適應した最新商材への入替え ④SDGsにおける営業体制の強化
5	化学物質使用量の削減		管理推進		ルールの徹底	ルールの徹底	①取扱商品SDSの取り寄せ ②P R T R法に該当する商品の有無調査 ③化学物質含有リストの作成

※ 取扱商品に関して毒劇物法対象商品もあるが、当社では、その使用はなく、また、その都度内容を確認して適切な取り扱いを行っている。

注. 使用した電気の温室効果ガス排出量算定係数は、
2021年度実績の電気事業者別排出係数を使用
E N E O S (株) 調整後排出係数 0.452kg-CO2/KWh
東京電力エナジーパートナー(株) 調整後排出係数 0.456kg-CO2/KWh

5. 環境経営計画の取組みと評価

経営計画・達成状況	環境経営計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 2023年度『目標』 2021年度に対し、0.5%削減 目標の達成状況：2.56% 削減	【評価：◎】 社内エネルギー使用量の8割超を車両燃料が占めており、エコドライブ推進、日次車両点検や適正距離でのオイル交換、低燃費かつ低排出ガス車への入替などにより、ガソリンCO2排出量を削減。トラック等ディーゼル車への入替もあり軽油CO2排出量が増加したが、総体のCO2排出量は減少した。 【次年度の取組み】 営業車のエコドライブ推進継続。 環境負荷が小さい低燃費かつ低排出ガス車への入替促進。
2. 廃棄物排出量の削減 2023年度『目標』 <u>一般廃棄物排出量に限り</u> <u>2021年度に対し、1%削減</u> 目標の達成状況：6.42% 削減 産業廃棄物再資源化率 『目標』84%以上 目標の達成状況：81.4 %	【評価：○】 一般廃棄物の削減については、ITツール導入によるペーパーレス化促進、ゴミ分別の徹底、段ボール再利用などを推進、4.1%の減量につながった。（新聞紙・段ボール等、再生利用可能な一般廃棄物割合は49.8%） 金属くずやがれきに比べ再生利用率が低い廃プラスチック、紙くず、コンクリートくず等の分別強化と排出量の抑制、有価物としての再資源化などに取組んだが目標とする84%には及ばなかった。 【次年度の取組み】 一般廃棄物排出量の削減とともに、最終処分比率が高い廃プラスチックやガラス・コンクリート・陶磁器くずの排出抑制を図る。
3. 水資源投入量の削減 2023年度『目標』 2021年度に対し、1%削減 目標の達成状況：3.95% 削減	【評価：◎】 隔月の水道使用量の確認、漏水等の異常値のチェック、節水シールの掲示による意識浸透、給水設備の保守点検などにより、削減目標を達成。 【次年度の取組み】 使用水量の定期的な把握、節水意識浸透による環境活動を継続する。
4. 営業商品の環境保全への貢献 『目標』 営業時の環境配慮 目標の達成状況： 省エネ溶接機等を推進	【評価：◎】 消費電力・CO2排出量を削減し省エネ性能が期待できる溶接機への入替、コンプレッサー点検整備の提案営業等を通じ、環境保全へ営業商品により貢献。化石燃料の中で燃焼時のCO2排出量が少ないLPガス燃料機器への転換利用も推奨。周辺住民の苦情や行政からの指導もなく、業務を遂行している。 【次年度の取組み】 仕入先との情報交換を密にするとともに、ユーザー・社会情勢の動きを素早くキャッチし提案営業を継続する。
5. 化学物質使用量の削減 『目標』 管理推進とルール徹底	【評価：◎】 各種環境関連法規の遵守、指針や手順書の確認、化学物質管理者の配置と任務徹底等により、化学物質を適正に管理。 【次年度の取組み】 化学物質の自律的管理の周知継続。

※ 取扱商品に関して毒劇物法対象商品もあるが、当社では、その使用はなく、また、その都度内容を確認して適切な取り扱いを行っている。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況
高圧ガス保安法	貯蔵・販売等の届出・販売主任者選定	遵 法
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	医療品販売許可の取得及び有効期限確認	遵 法
毒物及び劇物取締法	毒物劇物一般販売業取得・入在庫管理表作成	遵 法
消防法	危険物貯蔵取扱い届出・消防用設備設置	遵 法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	運搬・処分業者との契約及びマニフェスト管理	遵 法
労働安全衛生法	安全衛生管理者及び衛生管理者の設置	遵 法
自動車リサイクル法	営業車両廃車時における徹底管理	遵 法
フロン排出抑制法	フロン類回収管理表・簡易点検の実施	遵 法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

また、周辺住民等の苦情申し出もありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

総括：

2023年度もエコアクション21を通じ、環境経営システムによる活動に取り組みました。

2010年1月に初めて認証・登録されてから、15年目を迎えます。

これまで、本社屋上に設置した太陽光発電システムや照明灯のLED化などにより直接的に環境負荷を削減する取組みとともに、社内稟議や請求書の電子化システムの利用開始によるペーパーレスの促進など、環境に配慮した事業活動への転換を進めて来ました。

環境経営活動を通じて養われた社員の環境への意識や環境負荷に対する話題も向上したように思われます。

消費者ユーザー様の環境意識も急速に高まっています。企業間の取引においても、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する（グリーン購入）の動きが活発化してきています。環境にやさしい商品・サービスを提供し、環境にやさしい企業であることが、ますます求められるなか、将来を見通し、より積極的に環境保全に取り組むことが、私たちのビジネスチャンスにもつながります。

地球環境の変化に伴い、世界各地至るところで気温の上昇による異常気象など、今までの常識が通用しない環境になりつつあります。地球温暖化や海洋汚染など、問題が山積されるなか、地球環境の容量の限界を考えれば、環境保全に対する様々な規制や要請は、これから強くなっていくものと予想されます。

こうした動きに乗り遅れることなくエコアクション21の取組みを通じて微力ながらも環境への負荷を削減していくことが私たちの企業に与えられた身近な使命と信じています。